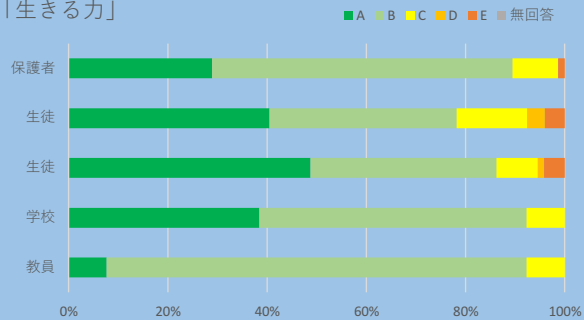


A...十分だ B...おおむね十分だ C...やや不十分だ D...不十分だ E...わからない

設問1 「生きる力」の育成(%)		教員	学校	生徒1	生徒6	保護者
1	A	7.7	38.5	48.8	40.5	28.9
2	B	84.6	53.8	37.5	37.8	60.5
3	C	7.7	7.7	8.3	14.3	9.2
4	D	0.0	0.0	1.3	3.5	0.0
5	E	0.0	0.0	4.2	4.0	1.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「生きる力」



成果・改善点

- 2年前までは、学校を訪問した際、行き会う生徒皆からあいさつをしてくれたが、今年は、3年生しかあいさつしてくれない。階段を走って降りてきた2年生男子とぶつかりそうになった時は、謝ってもらえなかった。ちょっと寂しく悲しくなりました。
- 生きる力の育成について校外学習は引き続き積極的に実施していただきたいです。
- 改善されてきたと思っていた反応がうすいときがある(生徒)

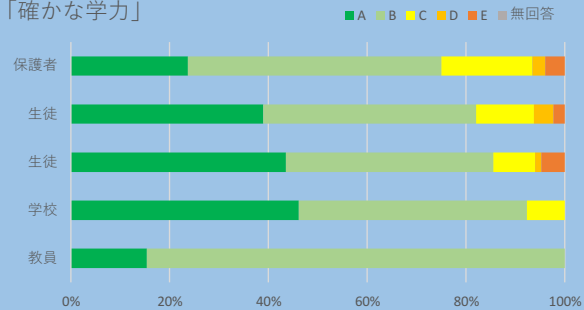
お気づきの点

学校より

- あいさつをはじめとする、社会人として身につけるべく必要なことの定着を図り、笛川中生として今後も残していきたい伝統を引き継いでいく取り組みを、生徒とともに推進していけたらと考えています。
- コロナ禍で失ったことはありますが、得られたものもあると考えられます。今後、新しい生活様式もふまえ、良きものを推奨し、不要なものは置き換えていくような生活が創ればと考えています。

設問2 「確かな学力」の育成(%)		教員	学校	生徒2	生徒3	保護者
1	A	15.4	46.2	43.5	39.0	23.7
2	B	84.6	46.2	42.0	43.1	51.3
3	C	0.0	7.7	8.5	11.7	18.4
4	D	0.0	0.0	1.3	4.0	2.6
5	E	0.0	0.0	4.8	2.3	3.9
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「確かな学力」



成果・改善点

- 授業参観などの様子を見て、子どもたちに元気がないのが気になりました。発言や挙手など、他人任せになっているような雰囲気を感じました。子どもたちの能力や、資質による部分も当然ありますが、良い雰囲気の中で生活してくれると嬉しです。宿題を平気で写したり、手を抜くことが日常になっている話を聞くと、学習面も不安です。(子供から話を聞く限りですが…)
- 高校入試と同じような難易度の問題を理解できる学力をつけることが改善点であると思います。
- 「確かな学力」の育成については、テスト範囲の授業がテスト直前まで終了していないということがあったと聞いています。コロナ禍であり、対面での授業が実施しにくい状況もあったと思いますが、改善してほしいと思います。
- 確かな学力については、県民の日や創立記念日に授業をするよりも休日としてもいいのではないかと思います。
- 授業が楽しいです(生徒)

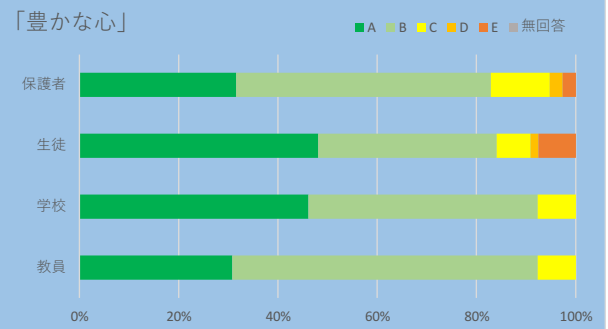
お気づきの点

- 宿題が多すぎて、長期休業日など大変そうです。遊びや家の手伝いなどももっとできる時間が欲しいです。

学校より

- 感染症対策によって制限されてきた弊害が、いろいろな形で表れています。その一つが、発言や合唱など「声を出して表現する」ではないかと考えます。できることをしっかり見極め、これからの学習活動に生かしていきたいと考えています。
- 本校では、期末テストの1日目に授業を入れない。終業式・始業式などにおいても、できる限り教科授業を入れないなど、生徒が、そのことに集中できるよう、気持ちの切り替えができるよう配慮しています。その分、できる限り、自習授業をつくらない、短縮授業もやむをえない場合以外は設定しないなど、学習時間の確保を実現しています。コロナにより学校閉鎖を余儀なくされた最初の年は、休日返上で授業を実施したこともありましたが、昨年・今年と休日を授業日に返上しなくても対応できています。県民の日・学校創立記念日が、昨年・今年と休業日(土・日、繰替えは行わない休日)に当たっていたため休日とはなりませんでしたが、こちらの通知を怠ったことが誤解を招いてしまいました。来年度以降気をつけていきたいと思っています。
- テスト範囲については、或る程度取り組み期間もふまえ設定していますが、諸事情により計画通り進まないことも生じます。そのため、気づくと時間割的にずれてしまい、テスト直前まで学習範囲が進まないという状況もまれに生まれます。今後、授業時数や行事等ふまえる中で余裕を持った範囲設定ができるよう心掛けていきたいと考えます。
- 家庭での学習時間の定着が、学習指導要領でも求められている「生きる力」のひとつであり、量はともかく、習慣化は課題でもあります。子どもが手伝いや普段できない体験活動、地域活動などに使える時間を設けることも大切ですが、個々の目指す学力向上について今後も考えながら検討していきたいと思っています。

設問3 「豊かな心」の育成(%)		教員	学校	生徒5		保護者
1	A	30.8	46.2	48.1		31.6
2	B	61.5	46.2	35.9		51.3
3	C	7.7	7.7	6.9		11.8
4	D	0.0	0.0	1.6		2.6
5	E	0.0	0.0	7.5		2.6
	無回答	0.0	0.0	0.0		0.0



成果・改善点

- 笛川中に限らず公立の学校によくある規則の多さと意味が私(親)が理解に苦しむ場面が時々あります。先生方の校則への理解度とそれに伴う指導は、子どもたちに画一的な思考や行動や容姿等を強いているように感じています。つまり、子どもを根本的に信用していないのでは?と思います。(多くの公立校のことを言っています 笛川中も含めて)
- 学園祭では、子どもたちがお互いに協力して作り上げている様子が伝わってきました。自分たちの役割や出番で頑張っている姿には、我が子だけでなく心を打たれます。文化の部が花かげホールでできてよかったです。合唱もとても上手でした。

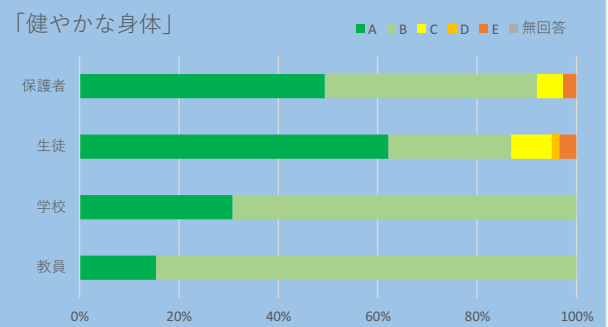
お気づきの点

- 子供らの成長を見守ってくださりありがとうございます。親よりも先生に誉められると成長します。時には厳しく生徒ひとりひとりに声をかけていただけると親も嬉しいです。よろしく願いいたします。

学校より

- 小さなことを見逃さないで、その都度声掛け(指導)を行うことが大切だと考えています。また、指導に当たり、保護者との連絡をこまめに取りることにより、効果的に実践できればと感じております。
- いじめや、SNSの問題は、本校に限らずなかなか無くならないのが現状です。それに向けて啓発活動は学活や道徳、集会等、場合によっては授業などにおいても、まだまだ伝えていく余地はあると考えています。そのためには、生徒、家庭からのどんな些細なことでも気になる情報の提供です。本年度も、それによって問題が発展する前に対応できた事例はあります。是非、来年度もご協力をお願いいたします。

設問4 「健やかな身体」の育成(%)		教員	学校	生徒7		保護者
1	A	15.4	30.8	62.2		49.3
2	B	84.6	69.2	24.7		42.7
3	C	0.0	0.0	8.1		5.3
4	D	0.0	0.0	1.6		0.0
5	E	0.0	0.0	3.4		2.7
	無回答	0.0	0.0	0.0		0.0



成果・改善点

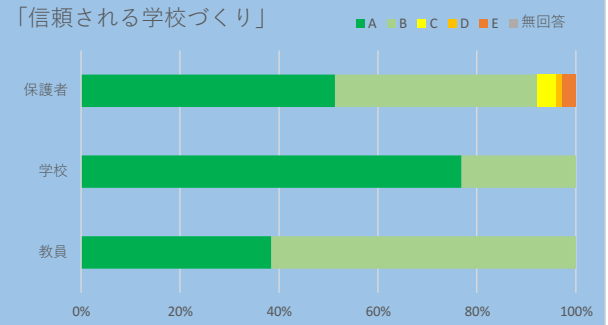
- 日々の感染症対策はとても大変だと思います。いつもありがとうございます。口腔衛生も重要だと思うので、給食後の歯みがきは再開してほしいです。
- 友達の大切さを3年生になりよくわかった(生徒)

お気づきの点

学校より

- 昨年度、感染症対策に合わせ、昼休み清掃が頻繁に持たれたため、歯みがきの時間が確保できませんでした。そのため本年度昼休みの時間を確保するために、極力昼休み清掃を設けないよう時間割を設定しています。そのため、歯みがきの時間は前年度より確保しています。ただ、全校で指導ということになると、感染症対策とのかかわりの中で難しい場面はありました。今後の対策緩和が見込まれば、保健指導の一環として取り組みも考えていきたいと思っています。
- 給食についても、センター方式に替わり、良い面が増えてきています。メニューについてもセンター栄養士が、検討を重ね、栄養面、嗜好面も含め日々工夫されていますが、その結果、満腹感が感じられないこともあるようです。今後もセンターと意見交換を踏まえる中で、より良い給食にしていけたらと考えています。

設問5	信頼される学校づくり(%)	教員	学校			保護者
1	A	38.5	76.9			51.3
2	B	61.5	23.1			40.8
3	C	0.0	0.0			3.9
4	D	0.0	0.0			1.3
5	E	0.0	0.0			2.6
	無回答	0.0	0.0			0.0



成果・改善点

- まちcomiで情報を発信していただき助かります。思春期になり、言葉数が少なくなり、学校の様子等も知ることができると、うれしく思います。
- 生徒の信頼感と交流感が少し不足しているように感じます。
- いつもお世話になっています。子どもが毎日楽しくに学校に登校する姿を見ると、充実した学校生活を送っているのだと安心しています。ありがとうございます。
徒歩通学で、冬期になると暗くなってからの帰宅で心配なことがあります。(他の子どもも含め)友だちと楽しくおしゃべりをしながらの下校は、とても貴重な時間かとは思いますが、暗くなる前帰宅、懐中電灯を持参するなどの対応をご指導お願いします。

お気づきの点

- 制服の衣替えのときに、カーディガン等を着られるようにしてほしいです。
- 白い靴、白い靴下は汚れやすいので黒でもOKにしてほしいです。
- 色々様々な人が集まる公立の学校の先生方は大変だろうな一と感じております。そのなかで平等な教育を保証しているのが今の公立学校かもしれません。いろいろと書きましたが、いつも感謝しかないです。ありがとうございます。
- 先生方の温かいご指導のもと、充実した中学校生活を送れたと思います。ありがとうございました。
- 今の時代や子どもたちに合った校則に変えていった方がいいと思います。
靴下や靴の色の指定、防寒具の指定、髪型等もっと自由でいいのではないのでしょうか。
- 授業参観等、仕事を休まなくてはならない日があるので、できるだけ早く予定を教えてください。
手紙ではなく、まちcomiでのお知らせに変更してもよいのではないのでしょうか？
- 先生方がよく頑張ってくださいと思っています。ありがとうございます。
上履きと体育館履きですが、小学校のように統一して使用したらどうかと思います。
- いち早く玄関にインターホン設置や、施錠をしていただき、安全に心がけて子どもたちを見ていただけてありがたいです。

学校より

- 本校では"チーム笛川中"として、教職員が担当だけに任せるのではなく、些細なことも全体共有し、教職員同志アドバイスや援助し合い、それに対応に生かしています。"地域、保護者、職員全員。多く目でひとりの子どもの見守っていくこと。"それが生徒が安心して学校生活に集中できる環境づくりの基本であると考えています。
- 部会や総会資料に年間計画を載せたり、学年・学級通信において月予定を載せるなど工夫しています。また、変更のある場合には早めの連絡を配慮してきましたが、今後も、それを意識して取り組んでいく予定です。
- まちcomiは、本来、緊急連絡のための手段として導入されましたが、便利なためいろいろな場面で用いるようになってきました。今後も、うまく活用していきたいと考えています。
- 配付物については、ICT化の中で、その活用を模索している過程でもあります。ただ、作る側の想いや伝えたいことなどを考えると、ひとりひとりに配布したほうがよいという配付物もあります。今後は更にその部分で検討を重ねていきたいと考えています。
- いろいろな時代の流れの中で、多様化した現在、古いのではと考えられる決まりもないとは言えません。ただ、公立中学校という立場を考えたとき、保たなければいけないものもあると考えています。中学校を卒業するとき、一社会人として、判断し行動できる"生きる力"を育む教育ができればと考えています。
- 登下校等の対応については、以前には考えられなかった事案が増えてきています。懐中電灯等も良い考えであると思います。これからも、生徒がおかれている実情もふまえながらより安全に登下校できる環境づくりも大切であると考えます。